

つなぎあつて元気に

35

2012 2月号

平山光子後援会

事務所
大牟田市原山町1-5
0944-53-1663

自宅
大牟田市倉永1651
0944-58-1252
メールアドレス
mitsuko2007@tng.bbq.jp
ホームページ
www.mitsuko-hirayama.net



フクシマ・現地レポート ～原発事故の現状を調査～

奪われた日常
計画的避難区域の飯館村を通りました。「までい力の優しい村は、人影のない寂しい静かすぎる雪景色でした。移動中のマイクロボスの中でも、線量計は、最高196μシーベルトという高い値を示していました。



学校も臨時休業 臨時移転に



卒業式を前に、県内外にバラバラになつてしまった飯館村の子どものために、芸能人の呼びかけで、卒業式がクリスマスプレゼントされたことが報道された。各地に散らばつて、辛い思いをしてきた子どもたちも再開し嬉々としていました。

2月1日～3日、社民党福岡県連と福島県連のご尽力で、原発に苦しむ福島県を視察しました。福岡から総勢17名、朝のJAL便で東京まで、東京から東北新幹線に乗り継ぎ、午後1時過ぎには福島市に着きました。

福島市も高い放射線量

1日、福島市に到着後、県内の情勢、福島市の状況、医療現場や教育現場などの、今も見通しが不明なままの様々な課題について現場からの報告を聞きました。駅前では放射線量が0.5μシーベルトを超え、室内でも0.1μシーベルト近くまで上がりました。

福島県立医科大学病院では、県民健康調査が始まった健康管理センターの作業現場や、除染棟の除染室内を見せてもらい、現状について説明を受けました。

陸の孤島となった南相馬市

2日、総支部の皆さんの案内で、福島市から飯館村を通つて南相馬市に移動。南相馬の桜井市長と市職員さんから震災時、避難地域ではなかった地域にも支援物資も届かず、逃げるガソリンもなかったこと、現在も大変困難な市の状況などを伺いました。

立ち入り規制の警戒区域へ

昼食後、通行許可を受けていよいよ警戒区域内(福島第1原発から20キロ圏内)へ入りました。浪江町、双葉町、大熊町、富岡町を通つて

福島第一原発が見える十数キロのところを通過したときは線量計が10μシーベルトを超えどんとん上がり警戒音が鳴り続けました。警戒区域の出口は、大熊町につくられた「ビレッジ」、十数億という東電の寄付でつくられたそうですが被曝量の検査場になっていました。私たちは簡単な装備ですぐ終了しましたが、その間にも、しっかりと装備した原発作業員を乗せたマイクロボスが次々に到着しました。基準を超えていると除染をしてもらわなければいけません。

仮設住宅へ

大熊町の方が避難しておられる榎葉町の仮設住宅を訪ねました。榎葉町の仮設は、木造でしっかりしている印象を受けました。その後、いわき市まで向かい、かんぱの宿に宿泊しました。

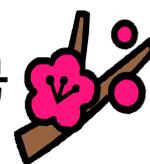
衝撃の報告

3日、兵庫医科大学医師振津かつみ先生から、未だに深刻なチエルノブイリの放射能汚染について、また、福島が県の半分以上に及んでいる事などの報告を聞きました。その後、原発作業員だった方や県立病院の職員さんなど、現地の方から震災時の様々なお話を伺い、意見交換をしました。地震からしばらくして放射能が漏れ出したこと、安全点検のごまかしなど、衝撃的なお話でした。

原発事故で、大変な数の人々が日常生活を奪われている状況、フクシマが広範囲に汚染されてしまったことを改めて現地で知りました。「原発に依存しない社会へ」の思いを確信した視察でした。

光子の部屋

2012 2月号



南相馬市桜井市長(中央)
YouTubeで世界中に支援を訴えた方です



福島駅前、戸外は0.4 μ シーベルトを超える放射線量
子ども連れの家族が普通に歩いておられました。振津先生
の話では、管理区域に相当する汚染だということ



管理区域(20キロ圏内)に入るには事
前に申請した許可証を示します。



コート、帽子、マスク、手袋で身支度をして入ります。出口で
は、全部廃棄して、全員、汚染を調べられます。車の外は何
十 μ シーベルトという高い線量でした



福島第一原発が見えるところまで近づきました。
付近では、壊れた船や車は今もそのまま。富岡町に、置き去
りにされた家畜の群れがいました。



当時の様子を聞いた、全村避難の双葉
郡浪江町、双葉町、大熊町の方々

線量計 μ シーベルト(マイクロシーベルト)について

線量計の数字は、1時間に体が受ける放射線量を表しています。単位は μ (マイクロ)シーベルトです。1 μ シーベルトというのは1ミリシーベルトの1000分の1。レントゲン等の医療被曝を除いて、一般公衆の年間限度は1ミリシーベルト、つまり、1000 μ シーベルトとされています。

単純に1時間の線量限度を計算すると、1000 μ シーベルト \div 365(日) \div 24(時) = 約0.114 μ シーベルトとなります。福島市内もとんでもなく高い値ということです。ちなみに、最近の福岡県の放射線量は、文科省のHPによると0.03~0.04 μ シーベルト程です。